



総務委員
鈴木 だいichi
☎070-2166-6260



環境建設委員長
ぼそや 正
☎345-0818



厚生委員
三輪 博美
☎070-2806-7832

11年間で
4割値上げ!!

国保税値上げ条例が可決される

市民の命と健康が危ない!! 声をあげ止めましょう!!

市民の声

国保税値上げ! 計算してみて驚きと怒り!!!!

私の(70代一人暮らし)2023年度の国保税は109,100円。2024年度は6.45%値上げで約116,140円になる。おーっと約7000円の値上げだ! 11年後は40.5%値上げになるという。なんと約44,000円アップの約153,285円だ! 私のひと月分の年金額に近い金額じゃないか!

70代を迎え健康不安が増えてきた。政治は私たちの命と暮らしを守れ! と政府には声を大にして叫びたい。

(喜平町在住)

(値上げ後の金額は、2022年1月～12月の所得ベースをもとに個人の計算による)

市の計画では今後さらに11年間で40・5%もの値上げを行うとし、今回は6・45% (1人平均年額5946円) の値上げとなります。物価高騰の影響でますます市民の暮らしは苦しくなっており「国保税が高すぎて、払いたくても払うことができない」と党市議団のもとへ相談が寄せられています。

学生、低所得者層の方たちです。国保加入者の平均所得は1世帯当たり136万円(全国平均)となっており、国保税が高すぎるため、小平市も含め地方自治体によっては独自に国保財政へ補助金を出し、住民の負担を軽減してきました。

12月議会で、国民健康保険税(以下国保税)の値上げ条例が市から提案され、賛成多数で可決されました。日本共産党市議団は市民の命と健康を守る立場から、反対しました。

自公政権が 国保制度を改悪

しかし、国は地方自治体が独自に国保財政へ補助金を出すことを廃止させ、守らない自治体にはペナルティとして交付金削減など国保制度の改悪を進めています。

これに対して、日本共産党や全国知事会・全国市長会なども、国保への1兆円の公費投入を政府に要望し続けています。

国民皆保険制度のもとでは誰もが安心して医療を受ける権利、健康になる権利、生きる権利が保障さ

市民の要望が前進!

第3子以降の給食費
無償化の実施など

2024年1月から学校給食費の第3子以降無償化実施が決まりました。

党市議団は、すべての子どもたちを対象に給食の完全無償化の実現に向けてこれからも強く要望していきます。



補聴器購入補助

市長からは
前向きな答弁

補聴器購入費補助の一日でも早い実施を求めた党市議団の一般質問において、市長は「実施に向け検討してまいります」と答弁。来年度予算には必要経費が計上されるよう実現に向け粘り強く頑張っていきます!



小林市長へ来年度の予算要望書(127項目)を提出する党市議団

れています。私たちは、これからも市民の皆さんの命と健康を守るために、国保税の値上げをやめ、引き下げを求め、同時に国の国保改悪を許さない立場で取り組んでいきます。



国保税の値上げ条例の賛否

反対

日本共産党市議団
一人会派の会
まちづくり市民こだいら
市議会れいわ新選組

賛成

政和会
市議会公明党
フォーラム小平
生活者ネットワーク



二〇二四年も暮らしと平和を守るために頑張ります！



能登半島地震への災害募金に取り組む党市議団
(1月5日、花小金井駅にて)

学校給食完全無償化、子どもの医療費完全無料化、特別養護老人ホーム待機者ゼロ、保育園の隠れ待機児童解消、中小企業や福祉施設等への物価高騰対策支援など、市民のみなさんの要求実現のために全力をあげます。

日本共産党小平市議団

12月議会

市議団の一般質問



鈴木 だいいち 議員
所属 総務委員会、
議会運営委員会

PFAS水汚染問題
東京都が小川給水所の二部の取水
を再開していたことが判明！

小平市内にある小川給水所では、2020年7月に1リットル当たり280ナノグラム（国の暫定目標値は50ナノグラム）の高濃度のPFASが検出され、水源井戸の取水を停止していました。

しかし、都水道局は11月中旬、住民に知らせることなく取水を再開していたことが党市議団の追及で明らかになりました。

小平市は11月24日付で都水道局に対し、①給水栓で暫定目標値を上回った場合には、直ちに対策を講じること、②市に対し遅滞なく情報提供すること、などを緊急に要請しました。

市民の方からは、「PFASは発がん性や子どもの成長に悪影響があると聞きとても不安」、「水道水を飲むのをやめ水のペットボトルを購入している」、「家庭用の浄水器を急遽購入し設置した」などの声が上がっています。

今回の都水道局の取水再開の判断は市民の不安な想いを無視したもので許せません。

党市議団としては、これからも希望者への血液検査や市内の井戸の水質調査の実施など、PFAS水汚染問題から市民の命と健康を守るために頑張っていきます。



喜平橋 狭くて危ない歩道

「喜平橋にある西側の歩道が狭いため自転車で通るときは、反対側で待たなければならぬ」

「喜平橋周辺の危険な状況が続いていると認識している。道路を管理する東京都は喜平橋交差点の改良に向けて検討を進めている。歩行者がより安全に通行するための取り組みについて、東京都と情報共有を図りながら連携していく」としています。

市は「歩道の幅が狭く、引き続き、市民の皆さんから寄せられた地域の声を市政に届けてまいります。」



三輪 博美 議員
所属 厚生委員会、広聴広報特別委員会、公共施設マネジメント調査特別委員会

地域の声を議会に！
喜平橋周辺の改善を求めて！

小川住宅の建て替えと、小川東町3丁目の大規模マンション計画の合計予想戸数は1200戸超です。既に小川駅西口タワーマンションの工事が始まっています。人口増による小平第6小学校、小平第2中学校、保育園への対応が急務です。市は小平第6小学校の児童を含む小



川西町の一部を小平第13小学校の通学区域に変更するとしています。

私たちは、これからも子どもたちの成長・学びの環境を確保する立場で、小川地域の人口増に対し、学校の教室不足や、保育園待機児童を生じさせない対策を市に求めています。



ほそや まさひろ 議員
所属 環境建設委員会委員、都市基盤整備調査特別委員会副委員長、幹事長、団長

小川地域の人口増！
学校教室・保育園
足りなくなる!?